

上册

宋拓淳化閣帖賈相刻本

乙卯冬褚德麟



浙江古籍出版社

據1943年日本大阪市辻本史邑氏印本影印

宋拓淳化閣帖賈相刻本
附解說釋文
(精) 二冊

浙江古籍出版社出版
(杭州市武林路125號)

江蘇邗江珂羅版印刷廠印刷
(邗江縣杭集鎮)

杭州古舊書店發行
(杭州市清泰街488號)

開本787×1092 1/16 印張51 印數1—690

1988年7月第1版

1988年7月第1次印刷

ISBN · 7—80518—054—7/J · 1

定價：40元

淳化閣帖と宋拓賈刻本

閣帖の由來

宋の太宗天下を統一すると共に、大いに文學を興し、亦書道にも意を用ひ、唐制に則つて昭文、集賢、史館の三館を設け、古今の文籍を集め、更に淳化年間に至つて淳化閣を建設、茲に宇内の名蹟を蒐藏せられた。而して時の翰林院侍書王著に詔して、この三館並に淳化閣に藏する上三代より、下唐代に至る帝王名臣の墨蹟を選んで十卷となし、摹勒上石したものが即ち淳化閣帖である。十卷悉く卷末に淳化三年壬辰歲十一月一行月六日奉二行聖旨摹勒上石の二十字を篆書で三行に分けて銘記してある。この歳は頂度皇紀一千六百五十二年で、今から九百五十年前に相當する。

閣帖の價值

一、集帖の元祖

法帖を作つた話は隋にも唐にも残つてゐるが、これ等はすべて單帖のことで、集帖の初まりはづつと以後の事である。南唐の李後主が昇元帖澄心堂帖を作つた事が記録に著はれてゐるが、現在これ等の帖は見る事が出来ない。又宋以後の著録にもこれ等の實物を見ての論評が無いことから見て、果して昇元

